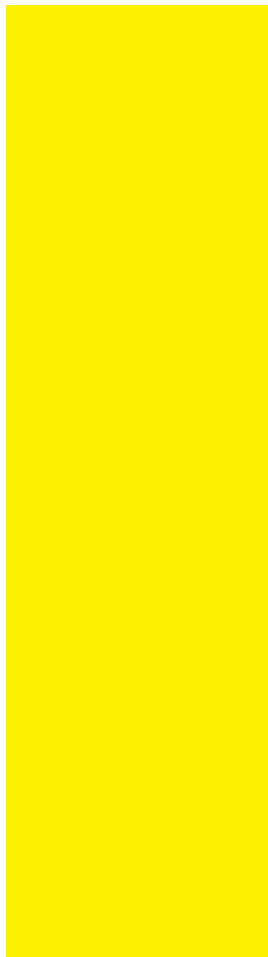




©Marco Borggreve



©Roberto Masotti



CONCEN TUS MUSIC S W I E N Nikolaus Harnoncourt



©Roy Beusker



©Jim Rakete

©Klemen Breitfuss



©Deanne McKee



©Stephan von der Deken

アーノルト・シェーンベルク合唱団
(芸術監督/合唱指揮: エルヴィン・オルトナー)
Arnold Schönberg Chor
(Erwin Ortner, *Artistic Director*)

ソプラノ: ドロテア・レッシュマン
Dorothea Röschmann, *Soprano*

メゾ・ソプラノ: ベルナルダ・フィンク
Bernarda Fink, *Mezzo-soprano*

メゾ・ソプラノ: エリーザベト・フォン・マグヌス
Elisabeth von Magnus, *Mezzo-soprano*

テノール: ミヒャエル・シャーデ
Michael Schade, *Tenor*

バリトン: フローリアン・ベッシュ
Florian Bösch, *Baritone*

ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス
指揮: ニコラウス・アーノンクール



2010年

10/26(火)19:00

サントリーホール

Tuesday, October 26, 2010 at 7 p.m. Suntory Hall

J.S.バッハ: ミサ曲 口短調 BWV232

J.S.Bach: Mass in B minor BWV232

ソプラノ: ドロテア・レッシュマン

メゾソプラノ: エリーザベト・フォン・マグヌス

メゾソプラノ: ベルナルダ・フィンク

テノール: ミヒャエル・シャーデ

バリトン: フローリアン・ベッシュ

合唱: アーノルト・シェーンベルク合唱団

(合唱指揮: エルヴィン・オルトナー)

S¥28,000 A¥23,000 B¥18,000 C¥13,000

D¥9,000 プラチナ券¥33,000

J.S.バッハ

「ミサ曲 口短調」

1970年代からJ.S.バッハのミサ曲、受難曲、カンタータ全曲の録音や演奏会を活動の柱のひとつとし、古楽の先駆として合唱入りの宗教作品の演奏に大きな成果を残しているアーノンクール&CMW。今回、中でも「マタイ受難曲」とともに西洋音楽最高峰の双壁である「口短調ミサ」を日本で初披露します。先日、ウィーンでライブ録音されヨーロッパでも話題を呼びました。このコンビは過去2回の来日でもバッハの管弦楽作品を取り上げてきましたが、ついに実現する極めつけのミサ曲演奏に期待が高まります。

2010年

10/29(金)19:00

サントリーホール

Friday, October 29, 2010 at 7 p.m. Suntory Hall

10/30(土)18:00

サントリーホール

Saturday, October 30, 2010 at 6 p.m. Suntory Hall

ハイドン: オラトリオ「天地創造」Hob.XXI-2

Haydn: Die Schöpfung Hob.XXI-2

ソプラノ: ドロテア・レッシュマン

テノール: ミヒャエル・シャーデ

バリトン: フローリアン・ベッシュ

合唱: アーノルト・シェーンベルク合唱団

(合唱指揮: エルヴィン・オルトナー)

S¥28,000 A¥23,000 B¥18,000 C¥13,000

D¥9,000 プラチナ券¥33,000

ハイドン

「天地創造」

2006年来日時の、ヘンデル「メサイア」の感動的名演は記憶に新しいところ。今回は「メサイア」と並び全オラトリオ中でも最高傑作のひとつ、世界の創造を描いたハイドン「天地創造」を取り上げることで、まさにアーノンクールが切り拓いてきた「新しい世界」を創造します。CMWとは創立50周年の節目となる2003年にこの名大作を録音しており、アーノンクールにとって「天地創造」は非常に重要な作品。レコーディングでも起用している、絶大な信頼を寄せるアーノルト・シェーンベルク合唱団や、マエストロお気に入りの歌手たちとの共演も楽しみ。

2010年

11/2(火)19:00

東京オペラシティ コンサートホール

Tuesday, November 2, 2010 at 7 p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

11/3(水・祝)18:00

東京オペラシティ コンサートホール

Wednesday, November 3, 2010 at 6 p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

モーツァルト:

交響曲第35番 二長調 K.385「ハフナー」

セレナード第9番 二長調 K.320「ポストホルン」

Mozart:

Symphony No.35 in D major K.385 "Haffner"

Serenade No.9 in D major K.320 "Posthorn"

S¥26,000 A¥22,000 B¥17,000 C¥12,000

D¥7,000 プラチナ券¥31,000

モーツァルト

「ハフナー」&「ポストホルン」

CMW、ヨーロッパ室内管、コンサートヘボウ管とともに、目(耳?)からウロコの落ちるような新鮮なモーツァルトの交響曲を録音し、世界に衝撃を与えてきたアーノンクール。オーストリア人である彼にとって、宗教曲やオペラも合わせてまさにライフワークと言えるモーツァルト作品の中から、最後の来日のために厳選したのは「ポストホルン」セレナードと「ハフナー」交響曲。

前回来日時の「レクイエム」の名演も記憶に新しいですが、意外にもこのコンビでは、初来日の1980年を含めてもモーツァルトの管弦楽作品が日本で聴けるのは初めて。半世紀にわたって築き上げてきたアーノンクール&CMWのモーツァルトをお聴き逃しなく!

伝説のマエストロ ニコラウス・アーノンクール 手兵とともに最後の日本公演

1980年、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス(以下CMW)とともに初の日本公演を行なったニコラウス・アーノンクール氏(80歳)は、その後長い間来日することがありませんでしたが、日本からの度重なる要請を受け、2006年、同じCMWおよびウィーン・フィルと共に、実に26年ぶりの来日公演を果たしました。

清澄で深遠なこれら一連の公演は、「音楽の友」誌の年間コンサート・ベストテンでもそれぞれ第1位、第2位を独占し、「奇跡の来日」としていまや伝説となっています。

そのアーノンクール氏自身が、ついに2010年に「最後の」日本ツアーを行うことを決意しました。

マエストロにとって地理的に「遠い国」と感じていた日本が、自身2006年の日本ツアーで優れた音響の新しいホールや聴衆の変化を体験したことを通じ、自分の音楽を愛する人々に囲まれた「近い国」になったと感じてくれたことは嬉しい限りです。

最後の来日のパートナーとしてウィーン、ベルリン、アムステルダム、オーストラリアも候補に挙がりましたが、アーノンクール氏が最終的に選んだのは、1953年に自ら創設した「古楽」の先駆的なオーケストラであり、彼にとって「家族」同様のCMWでした。

かくしてアーノンクール氏が選び抜いた独唱者5名とアーノルト・シェーンベルク合唱団、CMWによる総勢100名による一行がこの秋来日し、J.S.バッハやハイドンの宗教音楽の傑作、モーツァルトの交響曲やセレナードを演奏します。長い年月をかけて音楽を極めてきた歴史的な巨匠ならではの世界が、皆様の前に再び現れるのです。

もちろん録音で聞くアーノンクール氏の指揮する演奏も素晴らしいですが、生演奏からはいっそう大きな感銘を受けるであろうことを確信して止みません。

ニコラウス・アーノンクール(指揮) Nikolaus Harnoncourt, Conductor 1929年ベルリン生まれ。1952年から69年にかけてウィーン響のチェロ奏者を務めた時期に、ルネッサンスから古典に至る古楽作品とその演奏技術、音の可能性を学ぶことに目覚める。この目的を達成し精通するために1953年、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスを結成、57年に初公演を行った。以来、彼らは古楽演奏の先駆として現代に至るまで世界屈指の存在感を誇っている。アーノンクールはほかにもロイヤル・コンセルトヘボウ管、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルなど多くの一流オーケストラに客演し、70年代以降はチューリヒ歌劇場とモンテヴェルディ・チクルスなどを行い、大きな成功を収めた。85年からはグラーツのシュティリアルテ音楽祭に参加し、ヨーロッパ室内管とベートーヴェン、ブラームスなどの全曲チクルスや録音を行っている。交響楽とオペラいずれの分野でも、バロックからモーツァルト、近年ではロマン派から20世紀にわたる広範なレパートリーから作曲当時の衝撃を呼び起こす、現代随一の巨匠の一人である。その偉業に対し世界各地から多くの国際賞が贈られている。		ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス(CMW) Concentus Musics Wien 1953年にアーノンクールによってウィーン響のメンバーから創設。55年を経た今なお、古楽演奏の第一線で活躍している。1989年にJ.S.バッハのカンタータ全曲録音を完成。ウィーン楽友協会ホールでモンテヴェルディ、バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルトなどのコンサート・シリーズを行い、CDは世界各地で多くの賞を獲得している。	アーノルト・シェーンベルク合唱団(芸術監督:エルヴィン・オルトナー) Arnold Schönberg Chor (Erwin Ortner, Artistic Director) 1972年、現芸術監督オルトナーによって創設。オーストリア最高の実力と人気を誇る合唱団である。レパートリーはルネサンス、バロックから現代曲と幅広い。アーノンクールと緊密な活動を行い、コンサートやオペラでアバドやブーレーズ、サロネンらとも共演、ザルツブルク音楽祭やウィーン芸術週間頻りに出演している。シューベルトの合唱曲全集のCDは世界各地で多くの賞を受賞した。	
ドロテア・レッシュマン(ソプラノ) Dorothea Röschmann, Soprano 1995年のザルツブルク音楽祭において、アーノンクール指揮「フィガロの結婚」でスザンナを歌い鮮烈なデビューを飾る。以後アバド、ラトル、ドホナーニ、バツパーノ、C.デイヴィスらの指揮で数多くのオペラや、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管などのコンサートに出演している。	ベルナルダ・フィンク(メゾ・ソプラノ) Bernarda Fink, Mezzo-soprano レパートリーは古楽から20世紀音楽に及び、アーノンクールをはじめ、ガーディナー、ヤンソン、ムーティ、ラトルら率いるベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管などと多数共演。2006年CMW来日時の名唱が印象深い。レコーディングも多くがディアパゾン・ドールやグラミー賞を受賞。	エリーザベト・フォン・マグヌス(メゾ・ソプラノ) Elisabeth von Magnus, Mezzo-soprano ウィーン生まれ。ヨーロッパの主要歌劇場やコンサートホール、著名音楽祭に数多く出演し、アーノンクールやリュウヴェン、アバドらの指揮で歌っている。レパートリーはバロックから古典、20世紀音楽と幅広いが、特にバッハ、ハイドン、モーツァルトのカンタータやミサ曲の録音が多い。	ミヒャエル・シャーデ(テノール) Michael Schade, Tenor 現代トップ・クラスのリリック・テノールとして絶賛。アーノンクールをはじめ、アバド、ブーレーズ、レヴァインらの指揮のもと、世界中の一流歌劇場やオーケストラのコンサートに出演している。J.S.バッハのミサ曲からマラー「大地の歌」まで、膨大なレパートリーを誇る。	フローリアン・ベッシュ(バリトン) Florian Bösch, Baritone アーノンクール、ヘルヴェッヘ、ノリントンらと特に親交が深く、その他の大指揮者ともJ.S.バッハ、ハイドンからストラヴィンスキー、F.シュミットまで様々な作品で共演している正統派バリトン。2009年にはザルツブルク音楽祭の「コシ・ファン・トゥッテ」新演出に出演。

ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス



ハイドン:オラトリオ「天地創造」(全曲)

ドロテア・レッシュマン(ソプラノ) [天使アブリエル、イヴ]
 ミヒャエル・シャーデ(テノール) [天使ウリエル]
 クリステリアン・ゲルハール(バリトン) [天使ラファエル]
 アルノルト・シェーンベルク合唱団 [合唱指揮:エルヴィン・オルトナー]
 録音:2003年3月26-30日、ウィーン、ムジークフェラインザールでのウィーン・コンツェントゥス・ムジクス創立50周年記念演奏会におけるライブ・レコーディング
 ◎2CD: BVCD-34016~17 ¥3,780(税込)

ハイドン:オラトリオ「四季」(全曲) ◎2CD: BVCD-34061~62 ¥3,990(税込)
 ハイドン:バリ交響曲集 ◎3CD: BVCD-34025~27 ¥3,990(税込)
 J.S.バッハ:クリスマス・オラトリオ(全曲)
 ◎2ハイブリッドディスク: BVCD-34041~42 ¥3,990(税込)
 ヘンデル:メサイア(全曲) ◎2CD: BVCC-37698~99 ¥2,520(税込)
 モーツァルト:レクイエム ◎CD: BVCC-37701 ¥1,680(税込)
 モーツァルト:初期交響曲全集1764-1775
 ◎7CD: BVCD-38161~67 ¥10,500(税込)
 J.S.バッハ:カンタータ第29番、第61番、第140番
 ◎CD: SICC 1282 ¥2,520(税込) <最新盤 アーノンクール80歳記念リリーズ>
 今後の録音・発売予定 ◎ブラームス:ドイツ・レクイエム/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
 ◎J.S.バッハ:ミサ曲口短調/ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス
 ◎宗教曲は歌詞対訳付です。 **絶賛発売中** Sony Music Japan International Inc.

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからもお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

<http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999
 Pコード: 105-572[10/26, 29, 30公演のみ] / 105-573[11/2, 3公演のみ]
 e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
 CNプレイガイド 0570-08-9990
 ローソンチケット 0570-000-407
 サントリーホールチケットセンター[10/26, 29, 30公演のみ] 03-3584-9999
 東京オペラシティチケットセンター[11/2, 3公演のみ] 03-5353-9999

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
 iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
 チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス

一般発売: 6/5(土) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 5/26(水) 12:00~5/30(日) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

- お車で越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間分割引制度がご利用いただけます。(東京オペラシティ公演のみ)
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-25 河北ビル TEL: 03-3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>